

森 悠子 年譜 (主として長岡京室内アンサンブル関係)

- 1944 9月16日 教育哲学者・森昭の次女として、高槻市に生まれ、6歳より鈴木メソッドでヴァイオリンを始める
- 1959 桐朋女子高等学校音楽部入学
指の腱鞘炎の治療のため、整体協会創始者野口晴哉氏と出会い、「演奏と体の使い方」が森悠子の音楽の基本となる
- 1962 桐朋学園大学入学 1966年卒業 齋藤秀雄教授の助手として母校の子供教室の弦楽合奏の指導に当たる
- 1970 チェコスロヴァキアに留学、マリア・ホロニョヴァ女史に師事、次いでフランスに留学、ミシェル・オークレール女史に師事
- 1974 「パイヤール室内管弦楽団」に入団、第二ソリストを務め、同時にバロックヴァイオリンを本格的に学ぶ
- 1977 フランス国立新放送管弦楽団(現フランス国立放送フィル)に入団。87年退職
- 1989 リヨン国立高等音楽院助教授に就任。96年退職
- 1990 京都フランス音楽アカデミーを創案、開講、音楽監督に就任。2011年春辞職
- 1991 フランス政府文化省より「芸術文化勲章シュヴァリエ章」を授与
- 1997 実家のある長岡京市の歯科医 戸渡孝一郎氏と出会い、地方からの音楽文化発信の理念のもと長岡京室内アンサンブル設立
旗揚げコンサートを長岡京市総本山光明寺御影堂にて開催
- 1998 長岡京室内アンサンブルメンバーによる気軽なコンサートとして「キオスクコンサート」発足
- 1999 アメリカ ルーズヴェルト大学シカゴ芸術大学音楽院、弦楽科室内楽及びオーケストラ科の教授に就任
CEM音楽道場を企画、主宰、キャパシティビルディングの前身となる授業形式で様々な講習会を開催
- 2002 京都府より先駆的活動のあった女性に贈られる「あけぼの賞」を受賞
- 2003 長岡京室内アンサンブル 第2回ラ・フォルジュルネに招待され渡仏、
フランス政府文化省より「芸術文化勲章オフィシエ章」を授与される
長岡京室内アンサンブル 長岡京市より「文化功労賞」を受賞
フランス フォンテンブローのラ・ロワンテーンにてマスタークラス毎年開講、現在に至る
- 2008 長岡京室内アンサンブル 第1回長岡京音楽祭に参加 以後毎回参加
長岡京室内アンサンブル 上田益氏の神戸ルミナリエ・オリジナルサウンドCD「Kobe Luminarie 2008」録音
「レクイエム・プロジェクト神戸コンサート～あの日を、あなたを忘れない～」に参加 以後毎回参加
- 2009 くらしき作陽大学音楽学部特任教授を経て2012年より専任教授(～16年)
- 2010 「ヴァイオリニスト 空に飛びたくて」を春秋社より出版
林光氏に、映画「裸の島」「真田風雲録」「秋津温泉」より3つの映画音楽を弦楽アンサンブル用に編曲依頼
第6集CDに収録
- 2011 長岡京市にて開催された国民文化祭・オーケストラ一般の部の音楽監督を務める
子ども向けの企画(子ども音楽道場と小学校でのヴァイオリン体験授業)を「プロペラプロジェクト」と命名
- 2015 JT生命誌研究館展示館長中村桂子氏に招かれ、岡田節人氏追悼の会にて長岡京室内アンサンブルメンバーがカルテット演奏
- 2018 京都大学国際文化フォーラム「健康と病と芸術/フォーラム」に招かれる
- 2019 コロナ禍 万全の予防を行ってプロペラプロジェクトと長岡京室内アンサンブル演奏会を開催
- 2023
- 2024 ヨーロッパの現場で活躍する演奏家と日本の若い演奏者とのコラボを目指して長岡京室内アンサンブルを再構築
- 2025年3月25日逝去



安紀ソリエール 音楽監督

かしこ暮らしっく
長岡京

長岡京芸術劇場

長岡京室内アンサンブル

森 悠子 追悼コンサート



Program

- ブリテン: シンプル・シンフォニー Op.4
Benjamin Britten: Simple Symphony, Op. 4
- メンデルスゾーン: 弦楽5重奏曲 第2番 変ロ長調 Op.87 MWV R33
Felix Mendelssohn: String Quintet No.2 in B-flat major, Op. 87 MWV R33
- ドヴォルザーク: 弦楽セレナーデ ホ長調 Op.22
Antonín Dvořák: Serenade for Strings in E-major, Op. 22

2025年7月12日(土) 15:00開演 (14:00開場)
京都府長岡京記念文化会館

3:00 p.m. Saturday, July 12, 2025, at Nagaokakyo Memorial Cultural Hall
[一般] 3,000円 [学生(大学生まで)] 1,000円 (全席自由・税込)
※長岡京記念文化会館 賛助会員: [一般] 2,800円 [学生(大学生まで)] 900円

チケットお申込み 2025年5月2日(金) 発売開始

- *長岡京芸術劇場実行委員会(京都府長岡京記念文化会館内) 075-955-5711
- *長岡京室内アンサンブル事務局(特定非営利活動法人音楽への道CEM内) 075-212-4223
- *チケットぴあ [Pコード: 296-095] *teket teket.jp



京都府長岡京天神4丁目1-1
・阪急京都線「長岡天神」下車、西へ徒歩6分
・JR「長岡京」下車、西口よりバス約6分

【主催】長岡京芸術劇場実行委員会 | 公益財団法人京都府長岡京記念文化事業団

【共催】長岡京市 | 長岡京市教育委員会

【協力】特定非営利活動法人音楽への道CEM | 音楽とアートの館《ラ・ロワンテーン》 La Loingtaine

【後援】京都府 | 京都新聞 | エフエム京都 | 長岡中央商店街振興組合 | 京都音楽家クラブ | 在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ

【お問合せ】長岡京芸術劇場実行委員会 075-955-5711

※未就学児童のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等変更になる場合がございます。予めご了承ください。



長岡京室内アンサンブル理念

『長岡京室内アンサンブルは
若い演奏家の育成と実践の場であり、
また、常に世界に発信する演奏団体であり続けたい。』

森 悠子



「地方から世界に通用する音楽文化発信」と「若い演奏家の学びの場・実践の舞台であり続ける」ことを理念に掲げ、長岡京室内アンサンブルは四半世紀にわたり演奏活動を続けてまいりました。創立当初のメンバーたちもそれぞれに立場を確立し、後に加わった若者たちも国内外で活躍の場を広げています。このような姿を、私は誇りに思い、また嬉しく感じており、創設当初の想いはある程度達成できたと思自負しています。

副音楽監督を務めてきた安紀ソリエールは、彼女が幼い頃から寄り添い、成長を見守ってまいりました。彼女は私から「音楽をする」ということを深く学び、現在はベルギーのブリュッセル王立音楽院の教授を務め、次世代へ伝えることを目指しています。

現在、ヨーロッパの中心で活躍する演奏家や指揮者たちとの共演・交流を重ねる中で、多くの知己も得ており、私はそのような演奏家を招き、国内の若い演奏家たちと共演させることで、彼らが大きな刺激を受け、さらに成長していくことを願っています。そして、聴衆の皆さまにも感動と共感を届けられると信じています。

そのような思いから、2024年には2回の演奏会を開催いたしました。今後もこの理念のもと、活動を続けてまいります。

2025年3月15日 森 悠子

出演者 Profile



Aki Saulière, vn / music director

安紀ソリエール (ヴァイオリン/長岡京室内アンサンブル音楽監督)

パリに生まれる。室内楽、オーケストラ、教育のすべてのジャンルで活躍。ルノー&ゴートイエ・カピュソンと共にカピュソン・カルテットを結成。ルツェルン祝祭管、ヨーロッパ室内管のメンバーとしてアバド、アーノンクールなどのもとで音楽的感性を磨く。またガーディナーやヘレヴェッヘなどの指揮のもと、ピリオド楽器での演奏活動も多数。フランスのラ・ロワントーンで芸術監督を務め、森悠子と共に室内楽演奏会や、若手演奏家を対象とした教育プログラムを企画。欧州プロオーケストラで活躍する門下生も多い。ブリュッセル王立音楽院ヴァイオリン科教授。



Ai Fujito, vn
藤戸 愛 (ヴァイオリン)

京都市立堀川音楽高等学校卒、現在東京藝術大学器楽科ヴァイオリン専攻2年在校。プロペラプロジェクト、京都フランスアカデミー受講。



Anna Guinard, vn
安奈ギナール (ヴァイオリン)

タイのバンコクに生まれる。5歳の時中国上海でバイオリンを始める。12歳で日本に移住、14歳から森悠子氏に師事。現在ブリュッセル王立音楽院マスターコースにて安紀ソリエール氏に師事。



Hikaru Matsukawa, vn
松川 暉 (ヴァイオリン)

東京藝術大学在学中、文化庁新進海外演奏家研修員として英国ギルドホール音楽院へ留学、同音楽院を卒業、修士課程を修了、ミラノスカラ座アカデミーにて研鑽を積む。現在フリーにて活動。



Hiroaki Nagase, vn
長瀬大観 (ヴァイオリン)

中学生の時、森悠子創案の「ICO キャンプ」に参加。京都市立京都堀川音楽高等学校、くらしき作陽大学音楽学部を卒業、渡欧。ブリュッセル王立音楽院を経て、現在ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)管弦楽団第2ヴァイオリン副主席奏者として在籍中。



Huna Tachibana, vn
立花楓奈 (ヴァイオリン)

プロペラプロジェクトで合奏を勉強。バロックも好き、色んな曲を舞台上で弾くのも好きです。京都女子中学校1年。



Honoka Fujiwara, vn
藤原帆花 (ヴァイオリン)

小学4年生からプロペラプロジェクトに参加。現在、豊中市立第十五中学校1年。



Iroha Kaneshiro, vn
兼城衣呂巴 (ヴァイオリン)

プロペラプロジェクトにずっと参加しています。みんなとバロックの合奏をするのが楽しいです。京都光華中学校3年。



Izumi Hosokawa, va
細川 泉 (ヴァイオラ)

京都市立芸術大学院、ジュネーブ高等音楽院修了。日本演奏連盟と文化庁の主催でいずみホールにてソロリサイタルを開催。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。2018年より九州交響楽団首席ヴァイオリン奏者。2022年より京都市立芸術大学非常勤講師。



Janne Tatenno, vn
ヤンネ館野 (ヴァイオリン)

ヘルシンキ音楽院、ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院卒業。現在ラテンベスタ室内管弦楽団(ヘルシンキ)のコンサートマスター兼音楽監督、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。フィンランドと日本、二つの祖国において幅広く活動。



Jun Hanawa, vn
嶋 純 (ヴァイオリン)

京都大学医学部医学科5回生。京都大学交響楽団メンバー。



Maki Kinoshita, vn
木下真希 (ヴァイオリン)

京都市立堀川高校音楽科卒業後渡英。ギルドホール音楽院にて音楽学士・修士課程を修了。長岡京室内アンサンブル、兵庫芸術文化センター管弦楽団の創設時のメンバー。日本クラシックコンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員。神戸女学院大学音楽学部非常勤講師。



Masyu Kanda, vc
神田真秀 (チェロ)

京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、現在京都市立芸術大学2回生に在学中。プロペラプロジェクトや、夏のラ・ロワントーン講習会など国内外の講習会に参加。長岡京室内アンサンブル定期演奏会にも出演。



Minori Yamato, vn
大和美祈 (ヴァイオリン)

兵庫県立西宮高等学校音楽科、作陽音楽短期大学を経てベルギーのブリュッセル王立音楽院学士・修士課程を修了。2020年からベルギー王立歌劇場管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団のアカデミー生として研鑽を積み、2023年からアントワープ交響楽団第1ヴァイオリンとして在籍中。



Natsumi Dempo, vn
伝宝菜摘 (ヴァイオリン)

4歳よりヴァイオリンを始める。立命館宇治高校卒業。2023年ワロニー王立室内管弦楽団のアカデミー、関西フィルハーモニー管弦楽団のヨーロッパ公演に参加。ブリュッセル王立音楽院在学中。



Raphael Bell, vc
ラファエル・ベル (チェロ)

ジュリアード音楽院卒、シャピロ、ブルネロ、イッサーリスら巨匠の薫陶を受けた。現在欧米でオーケストラ、室内楽、プロデューサー、教育のジャンルにおいて注目されている。世界一流のコンサートホールや音楽祭で活躍し、アルゲリッチ、クレメーラらと共演。ロイヤル・フィルハーモニック協会室内楽賞など受賞多数。マーラー・チェンバー・オーケストラのメンバーとして、ルツェルン音楽祭でのマーラー交響曲シリーズに参加。米バージニア州のシャーロットピル室内楽音楽祭の共同設立者兼共同音楽監督。アントワープ交響楽団首席チェロ奏者。



Rin Ichida, vc
市田 凜 (チェロ)

兵庫県出身。4歳よりピアノ、6歳よりチェロを始める。兵庫県立西宮高等学校音楽科在学中。プロペラプロジェクトに度々参加。



Sari Nakajima, vc
中島紗理 (チェロ)

相愛大学音楽学部卒業。京都フランス音楽アカデミー、ラ・ロワントーン室内音楽アカデミー、国内外の講習会に多数参加。2020年から2年かけて、ベートーヴェンのピアノ三重奏曲、チェロソナタ全曲演奏会を行うなど室内楽にも積極的に取り組んでいる。



Shoko Nanjo, va
南條聖子 (ヴァイオラ)

京都市立芸術大学卒業。京都フランス音楽アカデミーでスカラシップを取得し、サント古楽フェスティバルに参加。ラ・ロワントーン音楽アカデミーでソロや室内楽を学ぶ。2018~22年大阪交響楽団ヴァイオリン奏者。現在フリーで活動。



Sosuke Kameda, vn
亀田宗典 (ヴァイオリン)

京都大学総合人間学部4回生。京都大学交響楽団メンバー。



Takahiro Komaki, vn
小牧高広 (ヴァイオリン)

プロペラプロジェクトで合奏を勉強。バロック奏法にも興味を持ち、バロックボウで弾くこともあります。京都市立上京中学校2年。



Takayuki Endo, cb
遠藤崇行 (コントラバス)

岡山県出身。17歳よりコントラバスを始める。くらしき作陽大学卒業。これまでにコントラバスを林環、渡辺彰孝に、フレンチボウをチェリストの野村朋亨に、室内楽を森悠子に師事。現在は岡山県内を中心に活動中。



Tamako Azuma, vn
東 珠子 (ヴァイオリン)

京都市立芸術大学首席卒業。パリ国立地方音楽院及びスコラ・カントルム音楽院首席卒業。2014~23年ベルギー王立歌劇場管弦楽団第1ヴァイオリン奏者を経て23年9月よりフランス・リール国立管弦楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



Tasuku Tominaga, vn
富永 扶 (ヴァイオリン)

3歳よりヴァイオリンを始め、工藤千博氏に師事。京都大学交響楽団のコンサートマスターを務めた後、森悠子氏の助手を務めながら室内楽と教育実践について学んでいた。



Toru Ishikawa, cb
石川 徹 (コントラバス)

東京音楽大学卒業。ヴェルツブルグ音楽大学大学院に留学。ドイツ各地の市立歌劇場にて研鑽を積む。現在、様々なオーケストラの客演首席として国内外の演奏会・録音に参加。2025年より神戸女学院大学にて後進の指導を務める。



Yoshiya Yamamoto, vc
山本善哉 (チェロ)

京都市立芸芸大学卒。京都フランス音楽アカデミー、ラ・ロワントーンアカデミー受講。中学・高校のオーケストラ指導、コンクールの審査員なども務め、後進の指導にも取り組む。京都シャロームチャーチアンサンブル、ユーオーディア管弦楽団、アンサンブルメゾンに所属。



Yuki Kiriya, tp
桐山優希 (トランペット)

7歳よりピアノを、12歳よりトランペットを始める。相愛大学音楽学部卒業。2017年と2019年の浜松国際管楽楽器アカデミーに参加。現在、関西圏を中心にオーケストラや室内楽での演奏活動や、椿音楽教室にてピアノとトランペットの講師を務めている。



Yuko Tanaka, va
田中佑子 (ヴァイオラ)

相愛大学音楽学部弦楽器専攻卒業。京都青山音楽記念館バロックザールにて2009年ソロリサイタル、2012年デュオリサイタルを開催。2020年大阪と東京で無伴奏ヴァイオリンリサイタルを開催。ポーランド、フランス、ニューヨーク、アルバなどで講習会、演奏会に多数参加。

© 八木 毅